

会議概要書

会議の名称	第2回 八坂小・中学校準備委員会
日 時	令和4年3月11日（金）午後5時～6時10分
会 場	八坂公民館 交流ホール
出席者	市教委：荒井教育長、三原課長、一本木課長補佐、勝野館長、藤巻主事（仲原教育委員、下川教育委員、森教育委員）8名 委員：13名
次 第	1 開 会 2 あいさつ 3 会議事項 （1）小中一貫校の校名候補の選定について （2）整備項目について 4 そ の 他 5 閉 会
主な意見等	<p>【校名候補の選定方法に関すること】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・選定方法についてご意見ください ⇒ 委員から推薦理由と併せて意見を聞いて選定してほしい。 ・複数応募（漢字・ひらがな表記の同一名称含む）があった校名から選定するのが良いと思う。 <p>○校名候補を数件に絞りまとめる方法とする。委員の協議により校名候補の選定を進める。</p> <p>〔各委員の意見〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・八坂小中学校（中点、ひらがな含む）、八坂里山学校、八坂学校（ひらがな含む）の3つが複数応募である。特に八坂学校がよい。電話での対応が八坂学校小学部、八坂学校中学部でわかりやすい。八坂を残したい意見が多い。 ・八坂小中学校がシンプルで良い。八坂学校も良い。 ・八坂里山学校が八坂のイメージに一番合う。八坂学校は電話の対応で言いづらい気がする。八坂小中学校は当たり前過ぎ、特異点がない。 ・八坂小中学校の応募が多いし、自分の中でも八坂小中学校と思っていた。八坂里山学校、里山は特長があって良いと思う。応募の多いものを選ぶのが良いかと思う。 ・八坂小中学校が良い。応募が一番多いから。 ・八坂里山学校、八坂学校のフレーズが良い。いくつかの候補の中から選定いただきたい。 ・馴染みやすく親しみやすく考えると「八坂」は外せない。シンプルであれば八坂小中学校、八坂学校。「八坂小中」、「八坂小・中」、「やさか小中」を同じに提示するのはいかがか。 ・応募の多い八坂小中学校でよい。

・八坂小中学校でよい。応募の皆さんの考えと同じ。八坂学校もよいが、小学校、中学校だけでなく地域の学校としての意味合いに取られるのではないかと感じる。

・八坂小中学校が、馴染みがあるのかと思う。わかりやすいと思う。

・それぞれの思いも大切にしつつ、最適なものをみんなで考えるべき。

・八坂は外せない。義務教育なので「小」「中」は入っていた方がよい。八坂小中学校がよい。「八坂小・中」の中間は、これまでも八坂の小学校、中学校の二つの学校を一緒に表すときに使用してきているので、中間は無い方がよい。

【校名候補の選定に関すること】

○選定数は、発言のあった3件とする。「八坂小中学校（中間、ひらがな含む）」「八坂里山学校」「八坂学校（ひらがな含む）」

○表記については、全て漢字とする。中間も無しとする。「八坂小中学校」「八坂里山学校」「八坂学校」とし報告する。

・事務局で報告書を作成し、教育委員会へ報告する。

・校名決定は、スケジュール（案）のとおりとする。

【整備事項に関すること】

② 校 歌 ⇒ 小学校校歌の一部を補作（歌詞・メロディー）する。

・デモテープを確認してから決定する。

③ 校 章 ⇒ 現八坂小学校の校章とする。

・校名候補全てに「八坂」が入るので、現八坂小学校の校章でいかがか ⇒ 意見なし。

⑤ 校舎名 ⇒ 愛称であるので、校名が決まってから再提案する。

・電話等で識別しやすいようにしてほしい。

⑧ 制 服 ⇒ 生徒たちの意向も伺うなど再度調査してから再提案する。

・現在の女子の制服は、標準仕様で今後もなくなるならない。

・美麻の標準服は ⇒ 色と着用する種類を決めてあるだけで、メーカー等はどこでも自由。活動しやすいように配慮している。

・美麻は1～4年がホップ期、5～7年がステップ期、8～9年がジャンプ期。指導がそれぞれ違う。施設一体型なのでできる。八坂の場合は、施設分離型なので、8～9年だけ制服というのは、校舎内で7年生だけ格好が違ってしまう。

・普段はジャージでいることは可能か。式服はないといけないのか ⇒ ある程度フォーマルなものはあった方がよい。登下校などで夏の暑い時期はクールビズも考えられる。事情がある生徒は個別対応。

・現在の町地区の中学校で検討している制服であると、量的な部分で価格を抑えることが可能である。そちらと合わせることも一案である。

・PTAからは価格の面や活動のしやすさ等、さまざまな意見がある。在校生が途中で変えることはないようにしたい。

- 新たに制服を用意する負担は避けてほしい。登下校の距離があるので、式典等と登下校の格好は分けてほしい。夏のワイシャツは襟が汚れる。使い分けをしてほしい。
- 小学校（1～6年）と中学校（7～9年）で考え方を分けた方がよい。大町地区の新中学校は新しい1年生から制服を一緒にする。在校で残る生徒は、一中と仁中の制服を着ている。八坂についても、同じで新たに中学校に進学する生徒から新しい制服にするかどうかでよい。
- 服装を自由にする意見は必ず出るが、その方が、余計に費用が掛かる。年頃であり気を使う。
- 大町の新中学校の制服と合わせるの分かるが、美麻と制服を合わせることはできないのか。山留生としては、おさがりで利用できる。
- 特認校であれば、大町からのものをそのまま使えるなど、考え方はいくつか考えられる。